

東和便り



第32号 スマホと学力号
2014.1.20 東和中学校

携帯電話やスマートフォンは 学力(思考力、判断力、表現力)に大に関係する！

本校3年生が、4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果から、携帯電話やスマートフォンと学力の関係について、見てみることにします。

本校では、特に、数学Bで顕著な結果が現れています。

【質問事項】

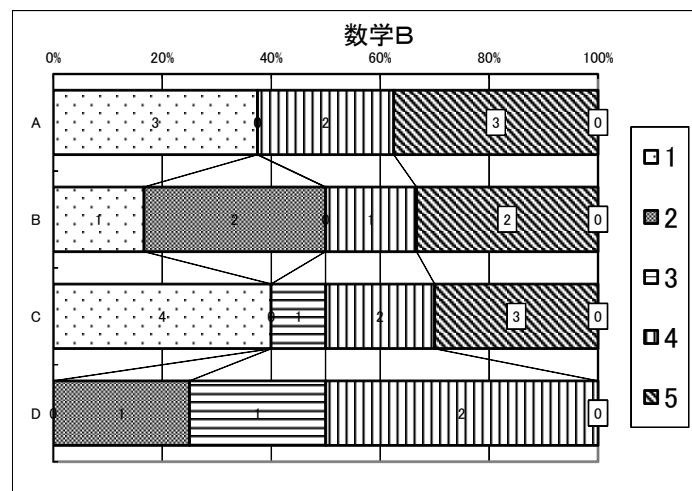
33. 携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

	回答
1	きちんと守っている
2	だいたい守っている
3	あまり守っていない
4	守っていない、または、約束はない
5	携帯電話やスマートフォンを持っていない

	1	2	3	4	5	無回答
本校	27.3	25.9	7.9	15.1	23.0	0.7
県	24.8	24.2	4.2	13.1	33.4	0.3
国	23.7	23.9	4.8	12.1	35.3	0.2

上記の結果から、本校では携帯電話やスマートフォンを持っている生徒の割合が県や国より非常に高いことが分かります。
したがって、家の人との約束については、守っている生徒も守っていない生徒もその割合が高くなっています。

質問紙と教科の相関グラフ 上記の質問と数学Bの正答率の関係



A~D層について(正答率の順)

- A 正答率 100%~75%
- B 正答率 75%~50%
- C 正答率 50%~25%
- D 正答率 25%~0%

携帯電話やスマートフォンを持っていない人は、成績下位層には0人

- ① 1番目の層(正答率100%~75%)を見てみると、約束事をきちんと守っている生徒の割合が38%、携帯電話やスマートフォンを持っていない生徒の割合が38%であり、成績上位の生徒は、携帯やスマートフォンを持っていないか、持っても約束事を守っている生徒が多いことが分かります。
- ② 4番目の層(正答率25%~0%)を見てみると、「携帯電話やスマートフォンをもっていない(5と回答)」生徒の割合は0%でした。携帯電話やスマートフォンを持っていない生徒は、成績下位の層には、いないことも分かりました。
- ③ 上記のことから、思考力、判断力、表現力が身につけている生徒は、携帯電話やスマートフォンを持っていないか、持っていたとしても、家の人との約束したことをきちんと守っていることが明らかになっています。
携帯電話やスマートフォンは、活用する学力と大に関係があるのです。

前号に引き続き、文部科学省ホームページ「ちょっと待って！ケータイ&スマホ」リーフレット(平成24年度)より「ケータイ・スマホ 我が家のオリジナルルールを作ってみよう！」を紹介しておきます。
http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/ikusei/taisaku/1225103.htm

携帯電話やスマートフォンを使う場合は、必ず、家の人との約束事を作り、守りましょう！

【チェック項目】

1. どんな時に使う	2. 何のために使う	3. 使うための約束
<input type="checkbox"/> 食事中は使わない <input type="checkbox"/> お風呂に持ち込まない <input type="checkbox"/> 夜___時をすぎたら利用しない <input type="checkbox"/> 利用は1日___分まで <input type="checkbox"/> 家ではリビングで使う <input type="checkbox"/> 充電器はリビングにおく	<input type="checkbox"/> 自分の個人情報を書かない <input type="checkbox"/> 悪口を書き込まない <input type="checkbox"/> 迷惑メールに返信しない <input type="checkbox"/> チェーンメールを転送しない <input type="checkbox"/> 知らない人からメールがきたら保護者に報告する	<input type="checkbox"/> 明細で料金を確認する <input type="checkbox"/> 料金が___円を超えた分はおこづかいで払う <input type="checkbox"/> 料金が___円を越えた翌月はケータイを使用しない <input type="checkbox"/> 着メロ、音楽、ゲーム等は勝手に会員登録やダウンロードをしない

大地震に備えるために、即時避難訓練を実施しました！

1月17日(金)、朝の読書活動終了後、緊急地震速報受信警報システムを活用した即時避難訓練を実施しました。

19年前の1月17日、午前5時46分に、阪神・淡路大震災が発生しました。6,434人もの犠牲者を出した大震災でした。神戸では、「伝える」、「備える」、「活かす」をキーワードに防災教育が進められています。

本校に、緊急地震速報受信警報システムが設置され、2月1日から運用が始まります。

チャイム音・音声ガイダンスと回転灯(生徒玄関と職員室)の点灯により地震がくることが分かれば、即時避難行動(机の下にもぐる等)をしよう！



※数学Bとは、基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかを見る問題です。